

# 交野市教委ニュース

第 113 号 (令和元年 6 月 21 日発行)

～第一中学校区における魅力ある学校づくり～  
みのおしりつさいと おか  
箕面市立彩都の丘学園を視察しました！



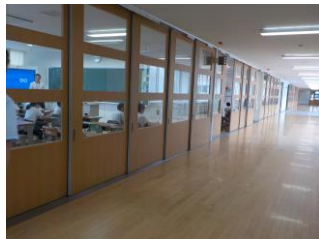
第一中学校区における新しい学校の整備に向けて、主に同中学校区の教職員が参加し、施設一体型で小中一貫教育をすすめる箕面市立彩都の丘学園（箕面市立彩都の丘小学校・彩都の丘中学校）の学校施設を視察しました。

平成 23 年にニュータウン・国際文化公園都市（彩都）に新設され、箕面市立彩都の丘学園がスタートして 9 年目、開校当時は 71 人でしたが、今年度は 1,300 人ほどの小・中学生が学ぶ施設一体型小中一貫校です。住宅開発に伴い、増加する児童・生徒数に対応するために校舎を増築し、新グラウンドも整備されています。



スクールアベニュー

校舎と体育館の間の明るい  
屋根付きスペース



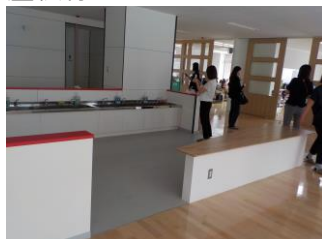
教室前のオープンスペース

廊下側を全開できる間仕切りで  
5m 幅の廊下部分を一体的に活用



中庭の野外ステージ

児童・生徒の多様な活動  
が可能



教室前の多目的スペース



水深の異なる大小プール



全校集会ができる広い体育館

4-3-2 制の前期・中期・後期においてそれぞれ自立への基礎、意欲と自信、自覚と主体性を育む教育方針の中で、ブロック内交流や他の異学年交流、中学校教員による小学校への乗り入れ授業、ICT を活用した授業を実施しているなどの教育内容について、またコミュニティスクールや働き方改革についても多くのご示唆をいただきました。

第二・第三・第四中学校区の教職員の参加もあり、視察をとおして施設一体型小中一貫校のイメージを高めることができ、整備について今後検討するにあたり、大変参考になりました。

